



株式会社ラック

2023年3月期 第2四半期決算説明資料

2022年11月9日

2023年3月期 第2四半期決算概要

セキュリティ事業、SI事業の伸長により増収・増益

純利益は前期にあった特別利益がなく、特別損失の計上もあり減益

(百万円)

科目	'22年3月期 2Q累計実績	'23年3月期 2Q累計実績	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	19,668	20,382	+714	+3.6
営業利益	△45	133	+179	-
営業利益率%	△0.2	0.7	+0.9p	-
経常利益	15	133	+118	+778.1
経常利益率%	0.1	0.7	+0.6p	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	126	20	△106	△83.9

- (注) 1. 特別損失として固定資産除却損66百万円を計上しています。また2022年3月期 第1四半期累計期間に子会社株式売却益219百万円を特別利益として計上しています。
2. 当社グループの事業の特徴として、特にセキュリティ事業の売上の計上が第4四半期連結会計期間に著しく偏り、第2四半期累計期間の業績は低い水準となる傾向があります。

セキュリティ事業、SI事業ともに増収・増益 全社共通費用は体制強化等により増加

(百万円)

売上高	'22年3月期 2Q累計実績	'23年3月期 2Q累計実績	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス (SSS) 事業	8,676	8,999	+322	+3.7
システムインテグレーションサービス (SIS) 事業	10,991	11,383	+391	+3.6
合計	19,668	20,382	+714	+3.6
セグメント利益	'22年3月期 2Q累計実績	'23年3月期 2Q累計実績	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス (SSS) 事業	591	725	+133	+22.6
システムインテグレーションサービス (SIS) 事業	1,201	1,500	+298	+24.9
合計	1,793	2,226	+432	+24.1
全社共通費用	△1,839	△2,092	△253	-

(注) セグメント利益は、全社共通費用を組み入れる前の、事業にかかる販売費および管理費を含めた利益です。

サービス、製品販売がともに拡大し増収・増益

セキュリティコンサルティングサービス

企業へのサイバー脅威が衰えを見せることなく猛威を振るうなか、エンドポイント対策支援サービスや教育・訓練サービスが伸長

セキュリティ診断サービス

主力のWebアプリケーション診断サービスやプラットフォーム診断サービスが好調に推移

セキュリティ運用監視サービス

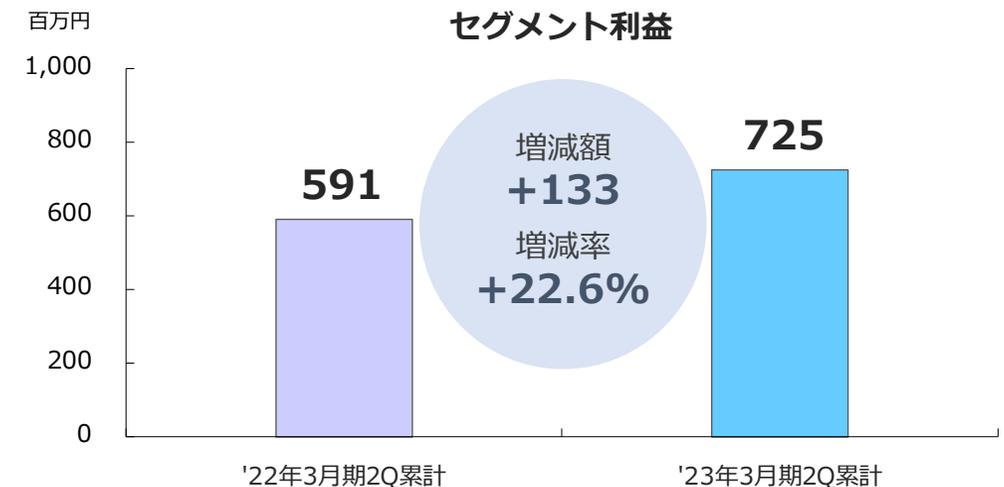
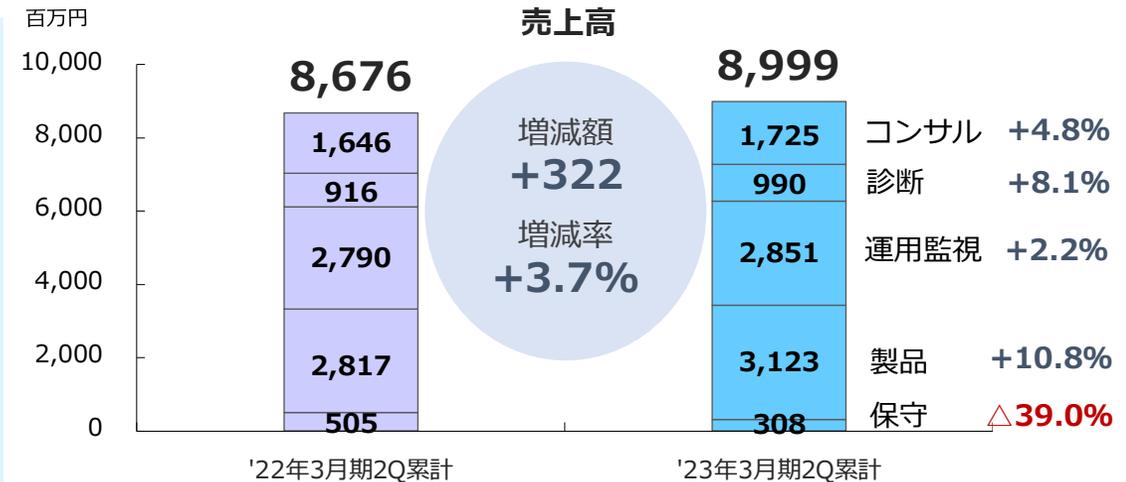
特定企業向けに高度な対策を行う個別監視サービスや内部不正監視サービスなどが伸長

セキュリティ製品販売

サービス妨害型攻撃にも対応したWebセキュリティ対策向けクラウド対応製品や、様々な機器からデータを収集し分析するログ管理製品などが拡大

セキュリティ保守サービス

クラウド対応製品の拡大に伴い既存案件が減少



開発サービスが好調に推移したことなどにより増収・増益

開発サービス

前期にあった大型案件終息などの影響もなく、大手銀行やクレジットカードなど金融業向け案件に加え、情報サービス業向けなどの案件が大幅に伸長

HW/SW（ハードウェア・ソフトウェア）販売

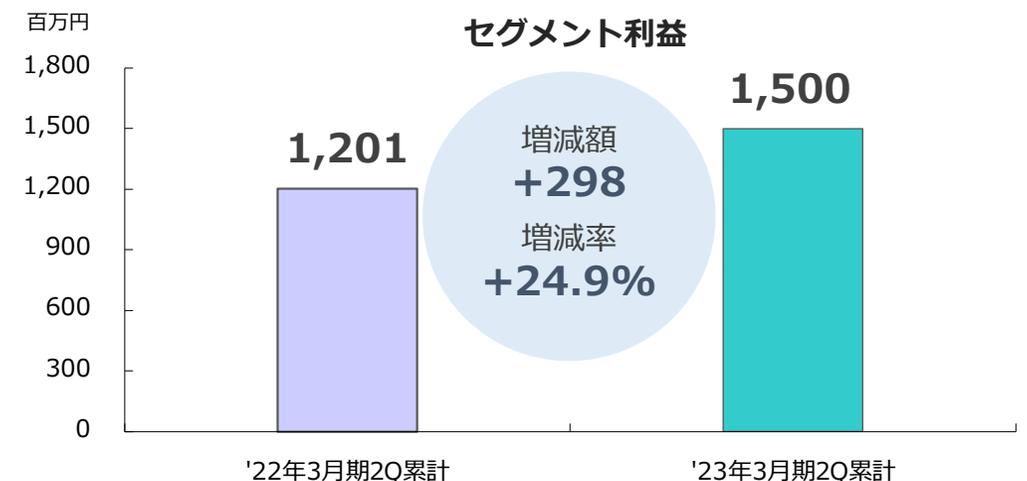
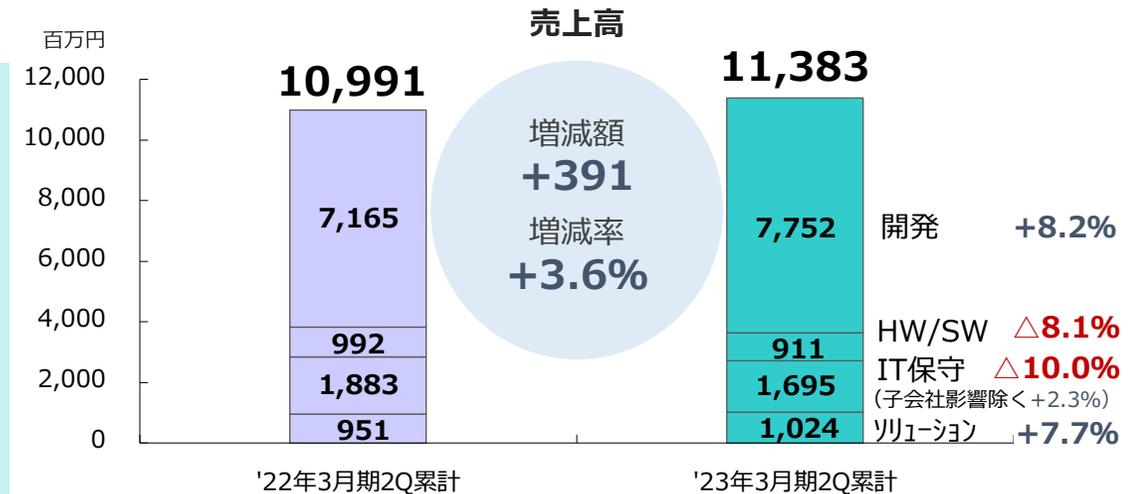
クラウドサービスの拡大等で需要が縮小したことで更新案件等が減少

IT保守サービス

更新案件等は堅調に推移したものの、子会社であったアイ・ネット・リリー・コーポレーション株式会社の事業譲渡に伴う売上減影響で減少

ソリューションサービス

サイバーセキュリティ対策にも寄与するソリューション製品関連の販売が伸長



持続的な成長投資を可能とする十分な財務基盤を引き続き維持

(百万円)

科目	'22年3月期末	'23年3月期 2Q末	前期末比 増減
資産合計	25,306	23,748	△1,557
流動資産	17,873	15,746	△2,127
固定資産	7,433	8,002	+569
負債合計	9,537	8,443	△1,093
流動負債	7,957	8,102	+145
固定負債	1,579	340	△1,238
純資産合計	15,769	15,305	△464
現預金	9,785	7,826	△1,959
有利子負債	2,746	2,154	△592
自己資本比率	62.3%	64.4%	+2.1p

増減ポイント

資産

【流動資産】

現金及び預金の減少	△1,959
受取手形、売掛金及び契約資産の減少	△828

【固定資産】

投資その他の資産「その他」に含まれる投資有価証券の増加	+433
-----------------------------	------

負債

【流動負債】

1年内返済予定長期借入金の増加	+670
-----------------	------

【固定負債】

長期借入金の減少	△1,336
----------	--------

純資産

【純資産】

利益剰余金の減少	△378
----------	------

資本業務提携に基づく出資などセキュリティ事業拡大のための投資を継続実施

(百万円)

科目	'22年3月期 2Q実績	'23年3月期 2Q実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,095	231
投資活動によるキャッシュ・フロー	△234	△1,089
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,390	△1,104
フリーキャッシュ・フロー	860	△858
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△533	△1,959
現金及び現金同等物期首残高	6,367	9,785
現金及び現金同等物四半期末残高	5,833	7,826

発生ポイント

営業キャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益	66
減価償却費	462
のれん償却額	36
売上債権の減少額	828
棚卸資産の増加額	△509
法人税等の支払額	△255

投資キャッシュ・フロー

ソフトウェアの取得による支出	△348
投資有価証券の取得による支出	△612

財務キャッシュ・フロー

長期借入金の返済による支出	△666
配当金の支払額	△397

主な取り組み



新経営メッセージとして、パーパス、ビジョン、バリューを策定（2022年6月）

Purpose

たしかなテクノロジーで、
「信じられる社会」を築く。

デジタル社会はより高度化・複雑化するなか、
私たちは練度の高い多様なテクノロジーを駆使して安心安全な社会基盤を築き、
人々が互いを支え合い、笑顔でいられる社会を実現します。



Vision

デジタル社会を生き抜く指針となる。

サイバーセキュリティをリードしてきたパイオニア精神を絶やさず、
深化・高度化するデジタル化社会における人々のいとなみを守り、業界文化を牽引し、
新しい時代を生き抜く指針でありつづけます。



期初に掲げた「クラウド」「内部不正」「ランサム」への取り組みを推進



クラウドセキュリティ対策

- AIクラウドセキュリティ運用支援サービスの提供開始
(株)野村総合研究所との合併会社「ニューリジエンセキュリティ(株)」が提供するクラウドセキュリティ対策エンジン「Cloudscort (クラウドスコート)※」をラックの運用監視に採用
※ラックとNRIグループの脅威情報+AIを活用した新エンジン



内部不正対策

- (株)エルテスとの資本業務提携により大手企業向けに内部不正対策ビジネスが拡大
ラックの外部脅威対策+エルテス社の内部脅威対策 (Internal Risk Intelligence)



ランサム攻撃対策

- サイバー緊急センターの対応件数は高水準で推移
- エンドポイント対策製品およびマネージドEDRサービスのビジネスが継続的に拡大
- メール訓練+eラーニングの定額パッケージサービスの提供開始
- ランサム攻撃対策等のイベントや情報発信などの取り組みを推進
 - ・ 医療現場におけるサイバーセキュリティ対策のセミナーの開催
 - ・ 夏季休暇明け感染被害の無料調査の実施
 - ・ ランサム攻撃の特設サイトおよびラック脅威情報ブログを開設

2023年3月期 連結業績予想

(2022年5月13日発表から変更ありません)

ランサム攻撃や内部不正などへのサイバーセキュリティ対策需要やシステム開発への投資拡大を背景に、大幅な増収増益を予想

(百万円)

科目	'22年3月期 通期実績	'23年3月期 通期予想	前期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	42,660	50,000	+7,339	+17.2
営業利益	1,595	2,100	+504	+31.6
営業利益率%	3.7	4.2	+0.5p	-
経常利益	1,769	2,100	+330	+18.7
経常利益率%	4.1	4.2	+0.1p	-
親会社株主に帰属する当期純利益	1,401	1,410	+8	+0.6
自己資本当期純利益率(ROE)%	10.2	8.8	△1.4p	-

セキュリティ事業、SI事業とも大幅な増収増益を予想 社内IT投資、組織体制の強化などにより全社共通費用は増加を予想

(百万円)

売上高	'22年3月期 通期実績	'23年3月期 通期予想	前期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	19,380	24,000	+4,619	+23.8
システムインテグレーションサービス（SIS）事業	23,279	26,000	+2,720	+11.7
合計	42,660	50,000	+7,339	+17.2

セグメント利益	'22年3月期 通期実績	'23年3月期 通期予想	前期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	2,319	3,800	+1,480	+63.9
システムインテグレーションサービス（SIS）事業	2,985	3,300	+314	+10.5
合計	5,304	7,100	+1,795	+33.8

全社共通費用	△3,709	△5,000	△1,290	-
--------	--------	--------	--------	---

(注) セグメント利益は、全社共通費用を組み入れる前の、事業にかかる販売費および管理費を含めた利益です。

株主還元



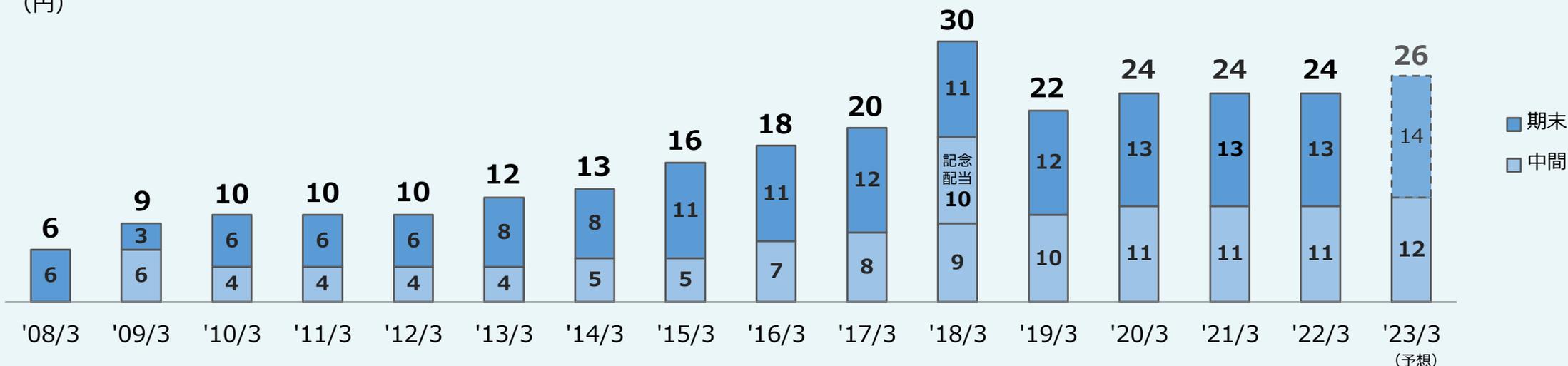
中間配当は12円に決定、期末配当は14円の予想 (期初予想から変更なし)

配当方針

- 長期的かつ安定的に保有いただくことを目的に、継続的に安定した配当水準を維持
- 基本指標はDOE（株主資本配当率）5%

1株当たり配当金

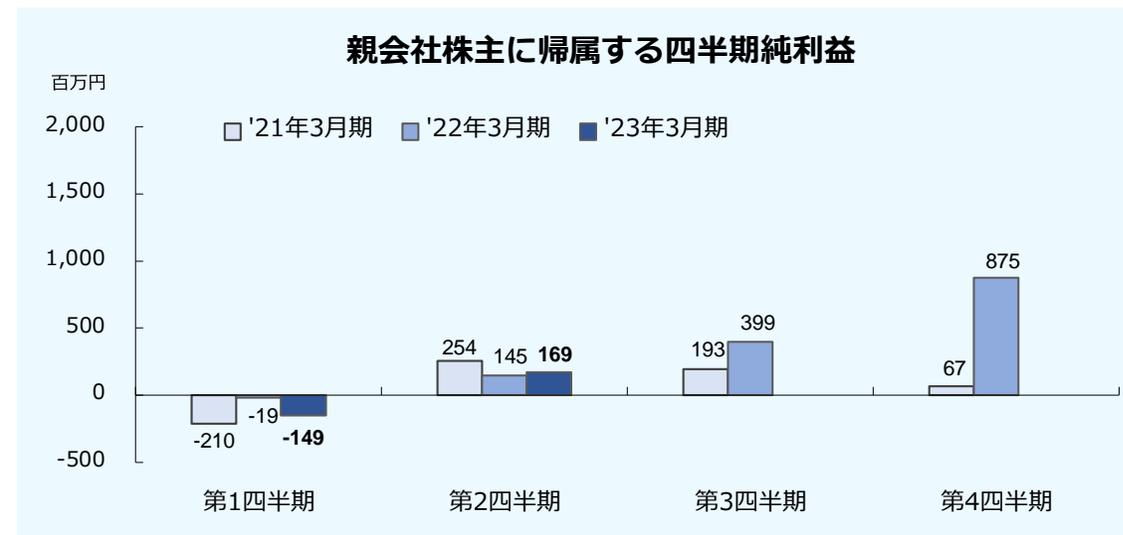
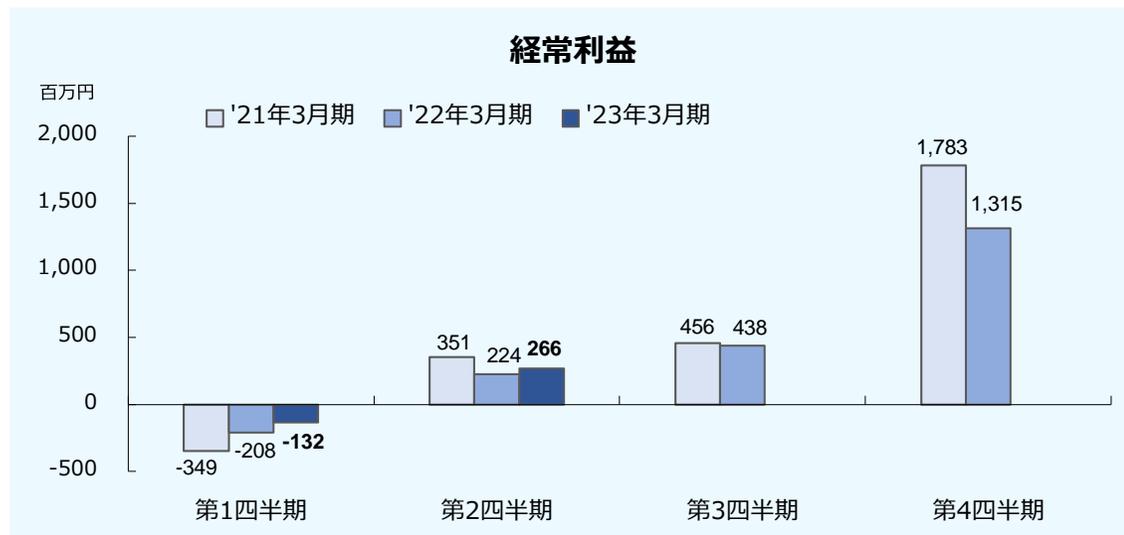
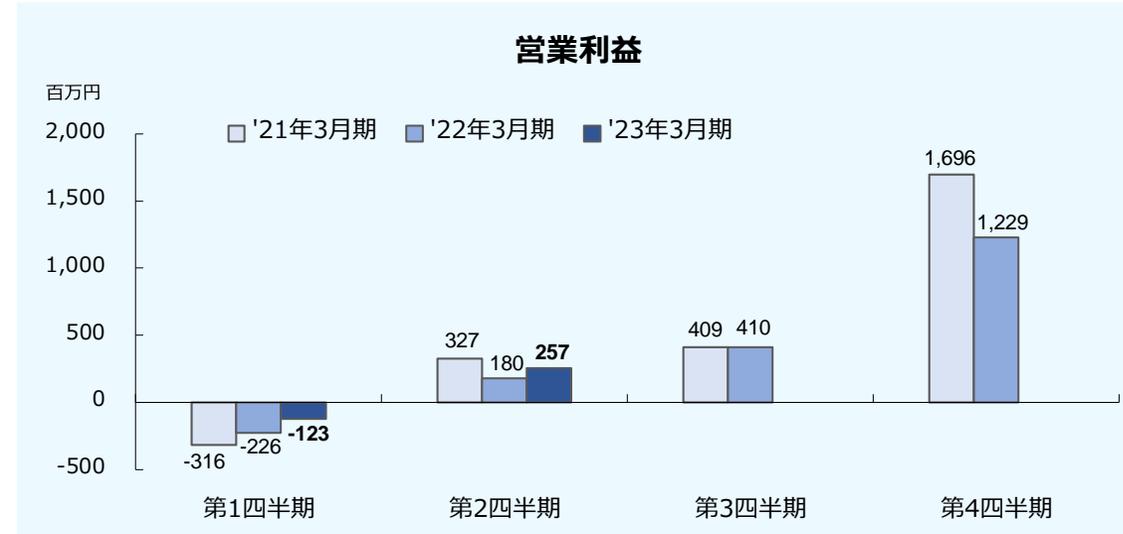
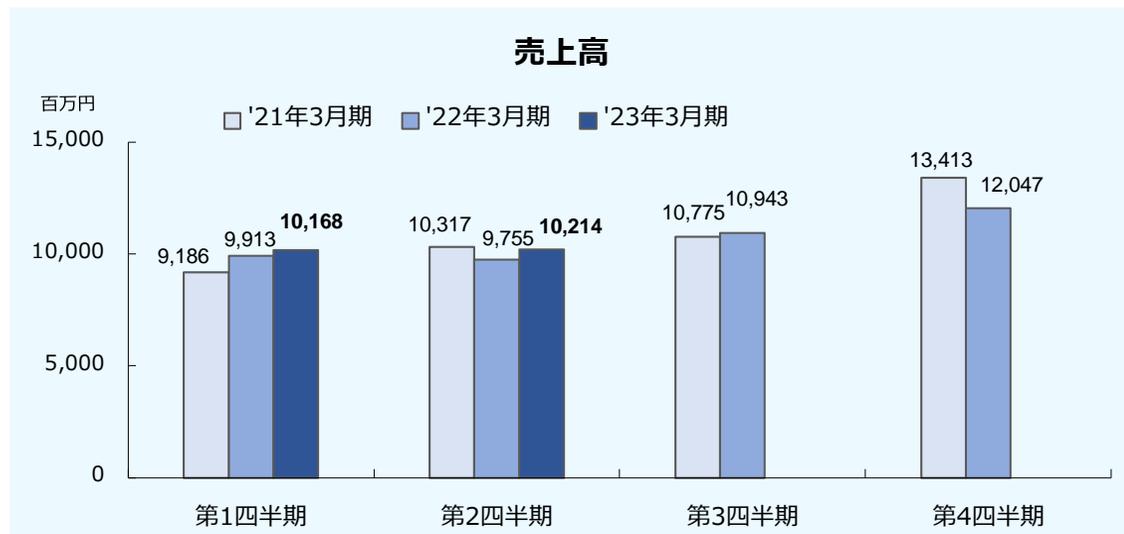
(円)



DOE	2.8%	4.2%	5.1%	5.2%	4.8%	5.2%	5.0%	5.5%	5.5%	5.5%	5.1% (記念配当を除く)	5.2%	5.3%	5.2%	4.9%	4.9%
配当性向	18.2%	98.7%	-	38.9%	45.0%	34.3%	32.7%	32.3%	31.6%	34.0%	40.5% (記念配当を除く)	36.3%	56.2%	201.3%	44.8%	55.6%

補足資料





連結業績・セグメント別推移（四半期）



(百万円)

連結業績	'21年3月期				'22年3月期				'23年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	9,186	10,317	10,775	13,413	9,913	9,755	10,943	12,047	10,168	10,214		
売上原価	7,571	8,117	8,565	9,860	8,094	7,670	8,581	8,858	8,292	7,998		
売上原価率 (%)	82.4	78.7	79.5	73.5	81.7	78.6	78.4	73.5	81.6	78.3		
販売費及び一般管理費	1,931	1,873	1,800	1,855	2,045	1,904	1,951	1,959	1,999	1,958		
売上高販管費比率 (%)	21.0	18.2	16.7	13.8	20.6	19.5	17.8	16.3	19.7	19.2		
営業利益	△316	327	409	1,696	△226	180	410	1,229	△123	257		
売上高営業利益率 (%)	△3.4	3.2	3.8	12.7	△2.3	1.9	3.8	10.2	△1.2	2.5		
親会社株主に帰属する四半期純利益	△210	254	193	67	△19	145	399	875	△149	169		
売上高四半期純利益率 (%)	△2.3	2.5	1.8	0.5	△0.2	1.5	3.6	7.3	△1.5	1.7		

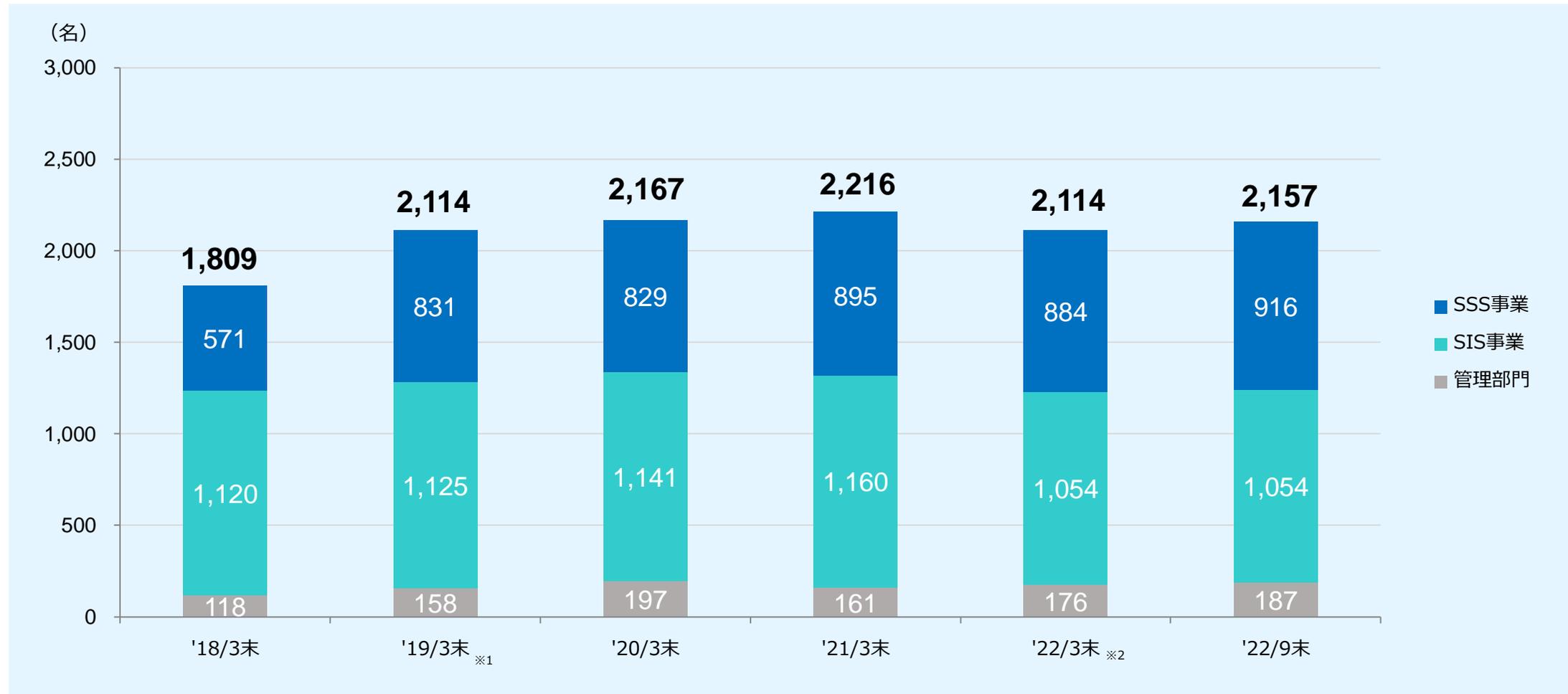
セキュリティソリューションサービス事業（SSS事業）

売上高	セキュリティコンサルティングサービス	592	777	825	1,315	740	905	881	1,209	766	959	
	セキュリティ診断サービス	310	591	512	1,236	411	504	464	1,072	407	583	
	セキュリティ運用監視サービス	1,352	1,407	1,409	1,823	1,405	1,385	1,507	1,524	1,399	1,452	
	セキュリティ製品販売	1,120	960	1,601	1,380	1,555	1,261	1,570	1,661	1,761	1,361	
	セキュリティ保守サービス	328	225	374	511	311	194	430	381	164	143	
	合計	3,704	3,963	4,724	6,267	4,425	4,251	4,854	5,849	4,498	4,500	
セグメント利益		55	436	510	1,538	208	383	542	1,185	201	523	

システムインテグレーションサービス事業（SIS事業）

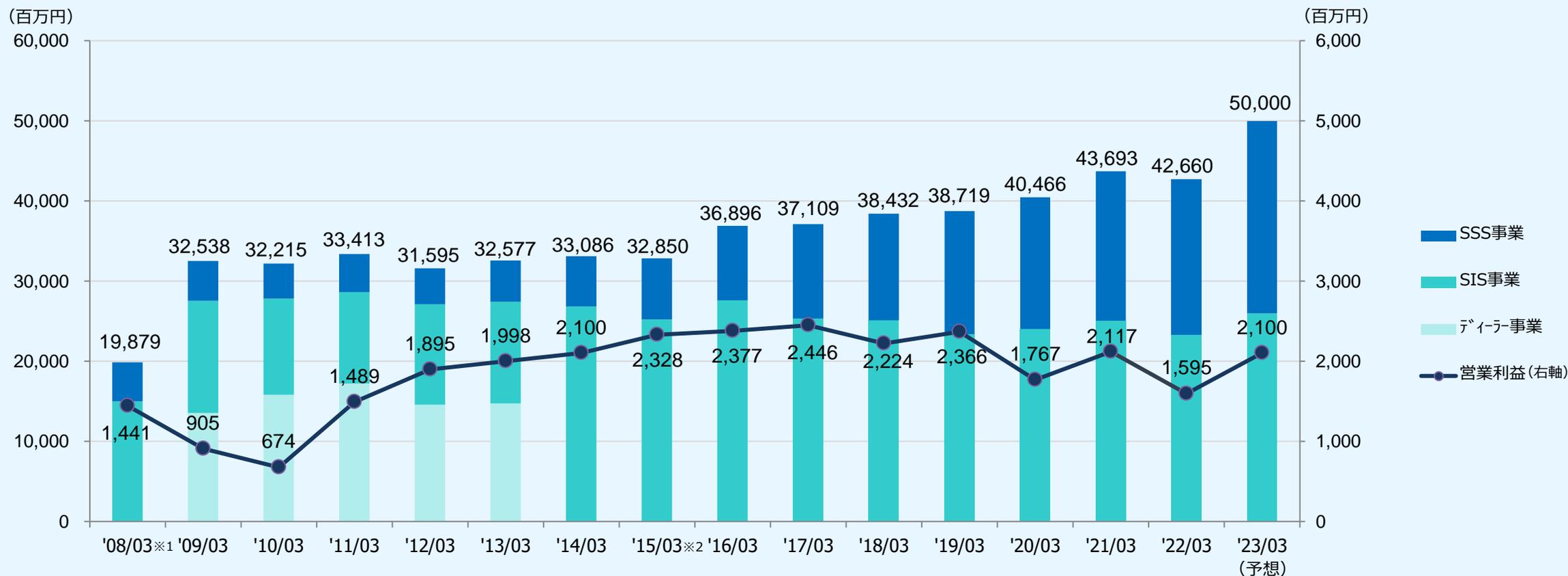
売上高	開発サービス	3,318	3,855	3,791	4,351	3,343	3,821	4,007	4,184	3,731	4,021	
	HW/SW販売	451	950	526	713	440	551	799	701	415	496	
	IT保守サービス	1,335	1,149	1,357	975	1,171	711	903	641	961	733	
	ソリューションサービス	376	399	376	1,105	532	419	378	671	560	463	
	合計	5,482	6,354	6,051	7,145	5,488	5,503	6,089	6,198	5,669	5,714	
セグメント利益		587	808	736	1,039	507	694	778	1,005	731	769	

全社共通費用		△959	△918	△837	△881	△942	△896	△909	△960	△1,057	△1,035	
--------	--	------	------	------	------	------	------	------	------	--------	--------	--



- (注) 1. '19年3月期以降のSSS事業における従業員数は、2018年4月2日に子会社化した(株)アジアリンク（現 (株)ラックサイバーリンク）の従業員が含まれています。
2. '22年3月期末の従業員数は、SSS事業において、第1四半期に(株)アジアリザレクションが(株)ラックサイバーリンクを存続会社として吸収合併したことによる減少影響（21年3月末比較：30名）があります。また、SIS事業において、2021年6月28日にアイ・ネット・リリー・コーポレーション(株)の全株式を売却し、連結の範囲から除外していることから、同社の従業員数(21年6月末時点：97名)が除外されています。

連結業績推移 (セグメント別)



(注) 1. 旧ラックとA&Iの経営統合初年度である'08年3月期の業績には、旧ラックが決算期を12月から3月に変更したことから旧ラックは'07年1月1日～'08年3月31日までの15ヶ月決算を反映していますが、本資料では、同一期間で比較するため'07年1月1日から'07年3月31日までの旧ラックの個別業績（売上高2,019百万円、営業利益329百万円）を差し引き、1年換算とした場合の想定実績で記載しています。

2. 事業セグメントの変更は'15年3月期からですが、セグメント別の業績を比較するため、その前年度である'14年3月期も同条件で組み替えた場合の想定実績で記載しています。

事業トピックス



監視対象とするファイアウォール機器の台数、拠点数、データ容量などによって柔軟に対応でき、従来のマネージドセキュリティサービスより10%~20%のコスト削減を実現

大手企業から中堅中小までの多種多様な拠点をセキュリティ侵害から守るため、米Fortinet社の次世代ファイアウォール製品「FortiGate」の運用管理を行う「FortiGateマネージドセキュリティサービス」を開始。

標準搭載の侵入防止機能に加え、独自シグネチャ「JSIG※」の追加によって分析精度を向上させ、セキュリティ監視センター「JSOC」で培われたセキュリティアナリストの高度な分析により、インシデント発生時の影響範囲や必要な対応策など、インシデント対応における初動を支援。

※ラックのセキュリティ専門家が主に日本国内で確認した脅威情報をもとに作成するブロック・検知リスト提供サービス。

FortiGateマネージドセキュリティサービスの概要

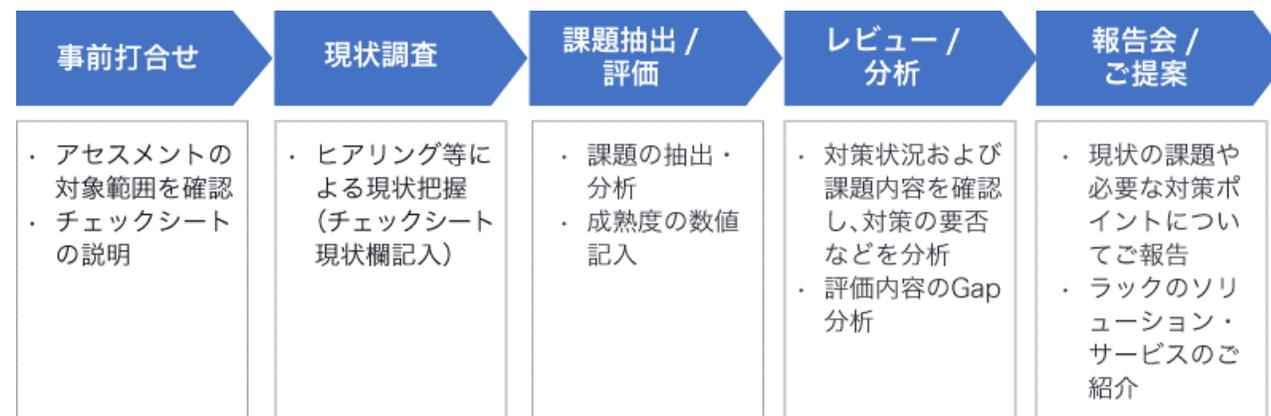


サイバーセキュリティ対策の具体的なガイドラインを活用し、社内システムやITサービス提供環境、セキュリティ対策状況に関する分析・評価を支援

セキュリティ対策の評価から改善までをワンストップで支援するため、具体的なガイドラインであるCIS Controls※を活用した「CIS Controlsアセスメントサービス」を開始。

社内IT環境やサービス提供環境など、お客様が利用・提供しているシステム環境について対策状況のヒアリングを行い、現状を把握し課題を抽出。ラック独自の評価軸を用いた多角的な分析に基づき、対策の成熟度評価を行うことで、対策が必要となる箇所の洗い出しや対策すべきポイントなどを提言。

CIS Controlsアセスメントサービスの概要



※国際的なITコミュニティのCIS (Center for Internet Security) が発行しているサイバーセキュリティ対策のガイドライン。本サービスは、最新版であるVersion 8を用いたもの。

ラックとNRIグループの脅威情報とAIを組み合わせたセキュリティ対策エンジンを採用し クラウド環境のサイバー脅威に対応する運用支援サービスを提供

(株)野村総合研究所と設立したニューリジェンセキュリティ(株)が提供する「Cloudscort (クラウドスコート)」と、ラックのセキュリティ運用システムを用いてAWSのWebアプリケーションファイアウォール (WAF) 等に対応する「AIクラウドセキュリティ運用支援サービス」を開始。

AWSのネイティブ機能として提供されるWAFに対応し、サイバーセキュリティ対策の経験が豊富なラックがWAFの運用を支援することで、クラウドへのサイバー侵害対策を強化。

AIクラウドセキュリティ運用支援サービスの概要



クラウドセキュリティ対策エンジン

クラウドスコート
Cloudscort

ラックとNRIグループの
脅威情報を融合 + AIを組み合わせたシステム



ラックの運用監視サービスに組み入れて提供

会社紹介



他社に先駆けて始めたセキュリティ対策サービスと 独立系のITベンダーとして幅広い領域のSIサービスを提供

安心・安全なサイバー空間への貢献

SSS

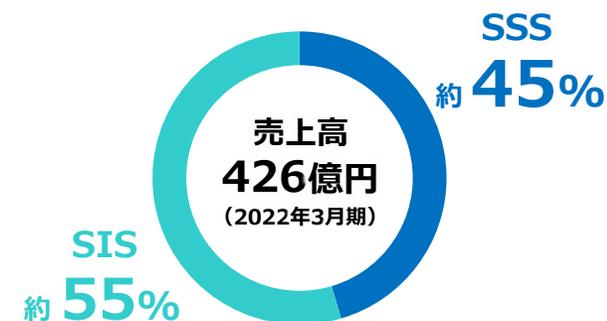
セキュリティソリューションサービス

24時間365日、リアルタイムで監視する国内最大級のセキュリティ監視センターを軸に、大手企業や官公庁向けに総合的なセキュリティ対策サービスを提供しています。

サブセグメント

- ・セキュリティコンサルティングサービス
- ・セキュリティ診断サービス
- ・セキュリティ運用監視サービス
- ・セキュリティ製品販売
- ・セキュリティ保守サービス

売上高構成比



ITによる豊かな社会への貢献

SIS

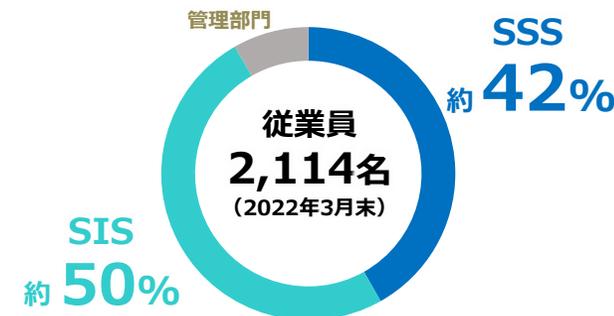
システムインテグレーションサービス

大手金融機関向け基盤システム開発のノウハウを強みに、幅広い業種のお客様へアプリケーションから基盤まで一貫したSIサービスを提供しています。

サブセグメント

- ・開発サービス
- ・HW/SW販売
- ・IT保守サービス
- ・ソリューションサービス

人員構成比



セキュリティの先駆者として構築してきた 総合的なセキュリティサービス

当社は1995年に、診断サービスから国内初のサイバーセキュリティ事業を開始しました。

まだサイバー攻撃への対処法が定まっていない時代、お客様の要望に応じてサービスモデルを構築し、総合的かつ先端のセキュリティサービスを提供しています。



高度な技術・ノウハウを有した セキュリティエンジニアによる専門サービス

ラックの特徴は、高度な技術とノウハウを持つ「セキュリティエンジニア」によるサービスを提供していることです。

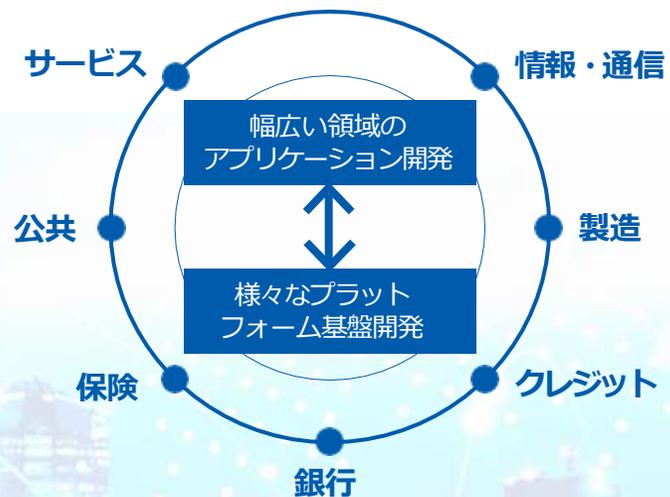
現場で独自に得られる最新の脅威情報をセキュリティ対策の高度な知見（インテリジェンス）として活用しています。



安定した収益を生み出す システム開発

独立系ITベンダーとして、30年以上にわたり基盤システムやITインフラを開発してきました。

メインフレームからスマートフォンアプリの開発まで、幅広いプラットフォームの基盤構築とアプリケーションの設計構築に精通しています。



常に進化し続け成長していく ユニークな組織や人材



専門的な技術や情報、知見を持って、お客様の課題を解決する組織やセンター群を擁しています。

多様な分野の人材育成とあわせ、専門スキルを評価する人事制度などを充実させ、今後の成長と発展を担う人材の育成・確保に努めています。

- **JSOC**
国内最大規模のセキュリティ監視センター
- **サイバー救急センター**
サイバー被害の救急対応を24時間365日実施
- **ラックセキュリティアカデミー**
専門講師による実践的情報セキュリティ教育
- **サイバー・グリッド・ジャパン**
セキュリティ等の国防・ICT利用啓発等の研究
- **ラックテクノセンター秋葉原**
自動車・IoT機器など種々のシステムに対する侵入テストを行う技術拠点
- **アジャイル開発センター**
アジャイル開発手法による開発やエンジニア支援
- **金融犯罪対策センター**
金融犯罪被害の相談と対策支援、防御技術の開発

(2022年9月30日時点)

会社名	株式会社ラック		
住所	東京都千代田区平河町2-16-1 平河町森タワー		
設立	2007年10月1日 (前身となる旧ラックは1986年に設立)		
代表者	代表取締役社長 西本 逸郎		
資本金	26億4,807万5,000円		
業績	売上高 426億円 営業利益 15億円 (2022年3月期)		
従業員数	連結 2,157名 単体 1,676名		
拠点	東陽町オフィス (東京都) 福岡オフィス (福岡県)	ラックテクノセンター秋葉原 (東京都) ラックテクノセンター北九州 (福岡県)	名古屋オフィス (愛知県) シンガポール支店 (シンガポール)
関係会社	セキュリティ 株式会社ラックサイバーリンク (東京都) KDDIデジタルセキュリティ株式会社※ (東京都) ニューリジェンセキュリティ株式会社※ (東京都) ※持分法適用関連会社	SIサービス 株式会社ソフトウェアサービス (東京都) 株式会社アクシス (福島県)	
上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場		証券コード 3857



※本資料は2022年11月9日時点の情報に基づいて作成しており、記載内容は予告なく変更される場合があります。

※この配付資料に記載されている業績目標、将来の見通しなどの記述はいずれも、当社グループが作成時点で入手可能な情報を基にした予想または想定に基づく記述であり、これらは経済情勢や社会動向等の様々な経営環境の変化によって、直接・間接に影響を受けるものであり、実際の業績、戦略などは、この配付資料に記載されている予想または想定とは大きく異なる可能性があります。

※ LAC、ラック、JSOC、サイバー救急センターは株式会社ラックの登録商標です。その他記載されている会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。